

47 E-4

福岡八幡神社のモミ



【種】マツ科・モミ属
【場】村岡町福岡 八幡神社

モミは、日本原産で山の中腹などに自生があるが、但馬では近年あまり見られなくなった。巨木が社寺の境内に多いのは、モミの樹形が美しいこと、大木になることなどで風致木として重要視されている。直径60cm～1mほどで200年の樹齢と言われている。

【高】36m【周】5m【所】八幡神社【管】福岡区【ア】八鹿駅より村岡行き福岡ハチ北口下車10分 現地乗り入れ可能



48 D-4

和佐父八幡神社のウラジロガン



【種】ブナ科・コナラ属
【場】村岡町和佐父 八幡神社

暖帯林を代表する常緑樹だが、一番高いところのカシでむしろ冷温帯の樹木である。肥沃な土質を好む特性があり、神社境内にある本樹の環境は、適地で巨木になっている。根元あたりから複数の幹が立ち上がって大きな株をつくっており老木が次々に新しい命をつないでゆく姿は素晴らしい。

【高】11m【周】4.78m【所】和佐父【管】和佐父【ア】村岡より相岡行き川会下車30分 現地駐車可能



49 C-4

八坂神社のイタヤカエデ



【種】カエデ科・カエデ属
【場】村岡町小城 八坂神社

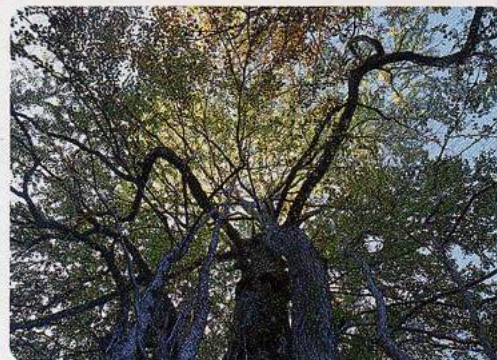
イタヤカエデは寒冷地帯に分布しているので但馬の山では普通に見られる。肥沃な土地を好むので、この樹も適潤な環境で成育している。冬期郵便受けを二階に取り付けるほどの積雪があり、裏山の林が村を雪崩から守ってくれた歴史がある小城の人たちは木を極度に大切にしている。

【高】20m【周】4.3m【所】小城区【管】小城区【ア】香住駅より村岡行き山田下車90分 小城集落駐車可能5分



50 E-3

板仕野のカツラ



【種】カツラ科・カツラ属
【場】村岡町板仕野 瀬川溪谷

谷入川の上流瀬川稲荷の境内から150m歩くと溪流沿いにある。傍らに瀬川溪谷散策道しるべとしての十三仏の一番目の地藏が立っており、カツラの巨木と合わせ安全を祈りたい気になる。

4月29日の稲荷の祭礼には大勢の参拝者で賑わうので、新緑のカツラ訪問の計画を組むのもよい。

【高】25m【周】10.6m【齢】300年【所】公有地【管】村岡町【ア】村岡より板仕野行き板仕野下車70分 瀬川休憩棟駐車場から15分



51 A-3

久谷八幡神社のスタジイ

県指定郷土記念物・社叢 町指定天然記念物

【種】ブナ科・シイノキ属
【場】浜坂町久谷

ざんざか踊りで知られる八幡神社が遷宮されたのは應永21年とあり、570余年前にさかのぼる。境内には、スタジイ・ヤブツバキ・イヌシデ・サカキなどの暖帯性の樹木が茂っている。このスタジイは二本株立ちで、一本は枯れ込んでいるが、苔むしカズラを着生させ母なる大樹の精すら感じられる。またイヌシデは県下一の巨木といわれている。

【高】15m【周】9.1m【齡】500年【所】八幡神社【管】八幡神社【ア】久谷駅から10分 178号線沿い



52 A-2

荒神さんの大ケヤキ

【種】ニレ科・ケヤキ属
【場】浜坂町芦屋

愛宕神社のケヤキは、人手によって枝が整えられており樹形がよくまとまって、一見盆栽のように見える姿だが、浮き上がった根が境内を張りめぐり、巨木の年輪を感じさせられる。地上2mのところより3本に分かれており、子供たちの木登りに格好の木として親しまれている。

【高】18m【周】5.7m【所】芦屋区【管】芦屋区【ア】浜坂駅より線路沿い 芦屋まで20分



53 B-3

大杉神社の大ヒノキ

県指定天然記念物

【種】ヒノキ科・ヒノキ属
【場】浜坂町久斗山 大杉神社

古木に覆われた本殿の裏にあるこのヒノキは全国的にも数少ない800年を超える貴重な巨木で、かつて二本の株立ちであったが昭和12年の台風で一本折れたものである。根元には、『万年酒』と言われるドブロクが作られ、毎年10月1日の祭礼の前日に取り出して、村の吉凶が占われる。

【高】40m【周】6.2m【齡】800～1000年【所】大杉神社【管】大杉神社【ア】浜坂駅より久斗山行き久斗山下車5分



54 B-2

正法庵の大シイ

県指定天然記念物

【種】ブナ科・シイノキ属
【場】浜坂町正法庵 伊賀家

1本であたかも森の如く見える大シイは地上3mのところでは枝が分かれ、その部分に自生するヤブコウジ・シダなどの群生も見られる。8月には点々と寄生しているフウランが花を咲かせ高貴な香りをただよわせる。

【高】17m【周】5.9m【齡】800～1000年【所】伊賀順三【管】伊賀順三【ア】浜坂駅より久斗山行き正法庵下車5分



55 A-2

三柱神社のアカメヤナギ

県指定郷土記念物・町指定天然記念物

【種】ヤナギ科・ヤナギ属
【場】浜坂町福富 三柱神社

本州・九州・四国に分布し、河岸や湖岸の日当たりのよい湿潤地に生育するヤナギで、初夏の新芽が鮮紅色で美しい。葉が広くまるいことからマルバヤナギとも言う。かつて福富周辺が岸田川の湿潤地であったことを教える古木で国内最大のヤナギである。

【高】20m【周】6m【齢】300年【所】三柱神社【管】三柱神社【ア】浜坂駅より浜坂病院行き福富口下車3分



56 A-2

楞厳寺のイチョウ

【種】イチョウ科・イチョウ属
【場】浜坂町田井

楞厳寺は室町時代に足利将軍家や但馬守護職の山名氏の援助を受け、寺勢が盛んなときは、33か寺に及ぶ堂塔があったと言われている寺である。参道のスギ・モミジの古木は名刹としての風格を忍ばせる。境内のこのイチョウは雌の巨木で黄葉と良質の銀杏拾いは秋の楽しみとなっている。

【周】4.74m【所】仏頂山楞厳寺【管】仏頂山楞厳寺【ア】浜坂駅より田井まで車で10分



A-2 浜坂クロマツの庭

白砂青松百選

【種】マツ科・マツ属
【場】浜坂町芦屋浜坂県民サンビーチ

昭和7年から第二次大戦中にかけて、先輩たちが飛砂から住宅や田畑を守るために植えたもので、松の一本一本に先人の労苦と対話、また町民の郷土の誇りとしての思いが込められている。4000本の松林は保健休養保安林・風致保安林として親しまれ、美しい森を守る松の聖人がいる。

【齢】70年【所】兵庫県・浜坂町【管】兵庫県・浜坂町【ア】浜坂駅より海岸まで15分





57

E-2

小長辺の大トチ

【種】トチノキ科 トチノキ属 【場】美方町小長辺

県指定天然記念物



兵庫県で一番大きいトチの巨木で、国指定の兵庫県畑上のトチノキより大きく、県指定文化財である。地上2mで4本に分かれ、第1枝は枝変わりで樹皮が縮れている。荒滝稲荷神社の神木として崇拝されており、この木の实を食べると祟るとされ、拾うことは固く禁じられている。

【周】9.6m 【所】大谷区 【管】大谷区 【ア】八鹿駅より秋岡行き大谷下車 役場より車で40分 看板で下車10分

58 E-3



おじろ 小代神社の小代スギ

県指定郷土記念物・町指定天然記念物

【種】スギ科・スギ属

【場】美方町秋岡

雪に強く枝が細く密で枯れ上がりが早く虫にも強い良質のスギとして知られ、小代スギ若しくは林1号として一帯が国の特別母樹林として指定されている。町指定記念物の塔明スギや和合の木として崇拝される一番大きな夫婦スギがあり、スギを抱込み合体してしまったトチノキもある。

【高】40m 【周】7.2m 【所】小代神社 【管】美方町教育委員会 【ア】八鹿駅より秋岡行き秋岡下車20分 車現地駐車可能

59 E-3



おじろ 小代神社のハリギリ

県指定郷土記念物

【種】ウコギ科・ハリギリ属

【場】美方町秋岡

スギ・ヒノキ・ケヤキ・ホウ・トチなどの巨木群は県の郷土記念物に指定され、ひょうご森百選の『おじろの森』である。県下で一番大きいハリギリは一名センノキ、方言でイヌダラ・テングノウチワとも呼ばれ、深緑の大きな葉と6月頃樹冠に咲く球形の大きな黄緑花はひと際目立つ。

【周】4.5m 【所】秋岡区(社寺) 【管】秋岡区 【ア】八鹿駅より秋岡行き秋岡下車20分 車現地駐車可能

61 C-2



見頃 4月上旬▶4月中旬



ショウフクジザクラ

町指定天然記念物

【種】バラ科・サクラ属

【場】温泉町湯174 正福寺

キンキマメザクラとヤマザクラの自然交配種で、兵庫県固有種である。但馬地方から播磨北部に分布する珍しいサクラの品種で、八重咲きで花にメシベが2~4本あり、半枝が垂れている。今ある木は2代目のものである。但馬では八鹿町の高照寺にも同じくらいの大きさのサクラがある。

【高】5m【周】0.4m【所】正福寺【管】温泉町教育委員会【ア】浜坂駅より湯村行き湯村温泉下車 湯村温泉荒湯対岸正福寺

60 E-3



新屋の大トチ

町指定天然記念物

【種】トチノキ科・トチノキ属

【場】美方町新屋字備

兵庫県のトチの巨木の上位10位までの殆どがこの新屋字備にある。標高が800m前後の高地で深い谷の山峡に点在し、面積およそ3haに20本くらいが確認されている。トチの周辺にはシャクナゲの自生も多く、全国シャクナゲ公園が整備され7000本が初夏に見事な花をつけることでも有名である。

【高】25m【周】5m【齢】400~500年【所】新屋区【管】新屋区【ア】八鹿駅より秋岡行き秋岡下車 2時間 役場から車で40分 登山靴が必要

62 B-2



見頃 4月上旬▶4月中旬



泰雲寺のシダレザクラ

県指定天然記念物

【種】バラ科・サクラ属

エドヒガン

【場】温泉町竹田

ソメイヨシノに先立って開花する。枝張りは東西16.7m南北20.3m、地上3.4mのところから2本に分かれている。長寿の桜で樹齢300年以上と推定されているが樹勢は今も盛んである。エドヒガンの枝が垂れるしだれ性の品種で、その姿はまことに優美で日本を代表する桜の一つである。

【周】5.2m【所】竹田区(社寺)【管】竹田区(社寺)【ア】湯村温泉から田中行き竹田下車4分

63 C-2



黒杉神社のイチョウ

自然公園(国定)内

【種】イチョウ科・イチョウ属

【場】温泉町切畑

黒杉神社の境内に入ると、神殿に登る石段の脇に立派なイチョウの巨木が根を降ろしている。その姿は地域を見下ろすが如くに見え、御神木として、大切に今日まで村人が保護を加えてきたのであろう。境内には他に巨樹・巨木はなくイチョウだけが堂々と神殿と地域を見守っている。

【周】5.1m【所】切畑区(社寺)【管】切畑区(社寺)【ア】湯村から照来循環線 切畑下車5分

64 C-2

清所神社のシナノキ

自然公園(国定)内

【種】シナノキ科・シナノキ属
【場】温泉町多子

大和本章批正に日本産の菩提樹と記され、寺院によく植えられている。但馬地方では天然に自生し、ヒルカワと呼ばれている。古くからこの樹の皮で繊維を取り縄や布・漁網などに利用したところから名づけられたものである。幹から垂れ下がる枝が清所神社の静寂を引き立てている。

【周】3m【所】多子区(社寺)【管】多子区(社寺)【ア】湯村温泉から照来循環線多子上下車1分



65 C-2

前原神社のスギ

自然公園(県立)内

【種】スギ科・スギ属
【場】温泉町桐岡

猿田彦大明神を祭神とする前原神社の境内にあり、御神体として桐岡の氏子・村人に厚く崇拝されてきた。樹齢500年以上と推定されており、主幹が2本に分かれた巨樹である。他に数本のスギが鳥居から神殿までの広場にあり、いずれも数百年の古木で尊厳と歴史を感じさせる。

【周】7.64m【所】桐岡区(社寺)【管】桐岡区(社寺)【ア】湯村から照来循環線 照来農協下車5分



66 B-3

善住寺のヒメコマツ

県指定郷土記念物

【種】マツ科・マツ属
【場】温泉町熊谷

善住寺は長保元年(999)に建立された由緒ある寺で、その庭に県内最大と第2位の2本のヒメコマツがある。地上20mのところで主幹が2本に分かれてそびえている。名前のとおり日本の五葉松のうち、最も葉が軟らかく樹形も女性的であるが、名と異なり凜然と根を降ろしている。

【周】3.5m【所】社寺(善住寺)【管】社寺(善住寺)【ア】湯村温泉から伊角行き熊谷下車5分



67 C-1

越坂のエゾエノキ

自然公園(県立)内

【種】ニレ科・エノキ属 エゾエノキ
【場】温泉町越坂

蒲生峠を少し下ったところから林道を4km登ると越坂集落(7戸)に着く。その二柱神社の境内にエゾエノキの巨木がある。樹幹はフユツタが覆っているが樹勢は旺盛である。境内には幹周り145cm+80cmの同一根二幹と152cmのヤブツバキがあり注目したい社叢である。

【高】20m【周】3.2m【所】越坂区(社寺)【管】越坂区(社寺)【ア】湯村から田中行き内山出合下車30分



68 E-6

せいけいしやういん
青谿書院のモミ

【種】マツ科・モミ属

【場】八鹿町門前 青谿書院

弘化4年(1847)池田草庵は自分の生まれた宿南の静かな土地を選んで青谿書院を開いた。当時の姿が今も残る私塾は、全国でも数少ない。前庭にモミの巨木が天に向かって屹立している。書院の開設を記念して初代京都府知事を勤めた北垣国道らの門人たちが植えたとして伝えられている。

【高】25m 【周】3.73m 【所】池田哲二【管】青谿書院保存会【ア】八鹿駅から日和山行き宿南下車10分 312号宿南から青谿書院



69 F-6

こんりゅうじ
今滝寺のカゴノキ

町指定天然記念物

【種】クスノキ科・カゴノキ属

【場】八鹿町 今滝寺

八木城主の菩提寺である今滝寺の裏山にあり県下最大級である。樹皮が円い薄片となつてはげ落ち鹿の子模様になるのでこの名がある。落葉樹と同時に常緑樹もある中間帯の特徴が出ている。他地域で消滅した但馬の里山林の原型と考えられる人為的影響が非常に少ない自然林である。

【高】16m 【周】4.3m 【所】今滝寺【管】今滝寺住職 明楽弘信【ア】八鹿駅から関宮行き下八木下車60分 9号線下八木



見頃 4月上旬▶11月下旬



70 E-7

五社神社のツブラジイ

【種】ブナ科・シイノキ属

【場】八鹿町岩崎

9月1日の午前中に神社境内のシイの木の前で、村人が矢と呼ばれるわら束を作り、束を振り合わせながら太さ10cm、長さ30mの綱を編み上げる。午後より、八朔という大蛇に見立てたこの綱で大綱引きが行われる。八朔は風水害から村を守り、豊作を願う行事として古くから岩崎村に伝わるものである。

【高】15m 【周】5.4m 【所】五社神社【管】岩崎区【ア】八鹿駅から出石行き坂本下車20分



71 E-5

なくさ
名草神社の妙見スギ

【種】スギ科・スギ属

【場】八鹿町妙見 名草神社

全国に知られる妙見スギは江戸時代の寛文5年出雲の国、出雲大社大改修に本殿のご用材として献上したと伝えられている。今も名草神社の境内にある国指定の重要文化財三重塔は、そのお礼として出雲大社から譲られた建造物である。一帯にはスギの巨木が多く母樹として知られている。

【高】43.1m 【周】7.5m 【所】井上憲一(名草神社)【管】井上憲一(名草神社)【ア】八鹿駅から石原行き石原下車90分 車で現地まで駐車可能



72 E-5

日光院の大イチョウ



【種】イチョウ科・イチョウ属
【場】八鹿町石原 日光院

但馬妙見の日光院は妙見信仰の一大霊場で日本三妙見の一つとされる。6世紀、日光慶重の開創に始まり、山名宗全をはじめ多くの武将の信仰も集めた。雄木で実はならないが、秋になると寒暖の差が大きい境内は木枯らしを受け黄金の落ち葉で埋め尽くされ見事である。

【高】28m【周】5.9m【所】森田光順(日光院)【管】森田光順(日光院)【ア】八鹿駅から石原行き石原下車10分車で現地まで駐車可能

養父町

73

G-6

建屋のヒダリマキガヤ
【種】イチイ科・カヤノキ属【場】養父町能座548

国指定天然記念物



全国最大で枝は四方に広がり東西南北共に24mにわたっている。名の由来は、種の外殻と内殻に左巻きの模様がっていることによるものである。この地は幕末の生野挙兵に参加し、後京都府知事として琵琶湖疎水を完成させた北垣国道の旧邸跡で「かやのきさん」として親しまれている。

【高】23m【周】8.1m【齢】700年以上【所】北垣正江【管】養父町能座区【ア】八鹿駅より建屋行き能座口下車10分

74 F-7

堀畑のハコネウツギ

県指定天然記念物

【種】スイカズラ科・タニウツギ属
【場】養父町堀畑字堀ノ内 墓地内

墓地の中にあり、樹齢は墓石の宝暦という刻銘から200年と推定される。この種としては長寿木であるが樹勢は旺盛、株立であるが地上90cm、幹周り185cmあり東西7.8m南北5.3m。白・淡紅・紅色と変化して花をつけ、最盛期には白・紅色を混じえて着けることから源平ウツギと呼ばれている。

【高】4m【周】1.9m【齢】200年【所】西村則幸【管】西村則幸【ア】養父駅から10分 和田山駅より八鹿行き南但スポーツセンター下車5分



見頃 5月下旬▶6月



75 F-6

玉水神社のイチョウ

県指定天然記念物

【種】イチョウ科・イチョウ属
 【場】養父町玉見字宮の上38

神社がかつての洪水により流されたとき、付近では最も樹木の茂った現在の地を選び移築されたと言われている。社叢はイチョウ・ムクノキ・エノキ・ケヤキ・トチなどから構成される自然林で、この森は県の天然記念物に指定されており、その内のイチョウとムクノキは際立って大きく有名である。

【高】30m 【周】5.7m 【齢】300年 【所】玉水神社
 【管】玉水神社 【ア】八鹿駅より大屋行き玉見下車3分



76 F-6

玉水神社のムクノキ林

県指定天然記念物

【種】ニレ科・ムクノキ属
 【場】養父町玉見字宮の上38

ムクノキはムクエノキとも呼ばれエノキとよく混同されることがあるが、ムクノキは葉脈が葉片に達し、エノキは達しないので区別できる。ムクノキを中心とした社叢で高さ20~25mのムクノキ・イチョウ・エノキなど300年以上の高木が多く群生し、フジ・イタビカズラが樹冠までよじのぼっている。

【高】25m 【周】5.9m 【齢】300年 【所】玉水神社
 【管】玉水神社 【ア】八鹿駅より大屋行き玉見下車3分



大屋町

77 樽見の大ザクラ 国指定天然記念物

F-5 【種】バラ科・サクラ属 エドヒガン
 【場】大屋町樽見字ケジメ85

何時の時代から生育したのか不明であるが、地元の人々が神の木として大切に保存してきた。大アベマキとともに出石藩と江戸幕府生野代官所の領地の境界木であったと言われている。出石藩の仙石小出備前守が花を見て、その大きさと見事さから、仙ザクラと名付けたと言われている。

【高】20m 【周】6.3m 【齢】1000年 【所】樽見区 【管】大屋町教育委員会
 【ア】八鹿駅より大屋行き樽見下車45分



見頃 4月上旬▶4月中旬



78 G-5

加保の夫婦イチョウ

町指定天然記念物

【種】イチョウ科・イチョウ属
【場】大屋町加保 一宮神社

一宮神社参道の左側に妻のイチョウ、右側に夫のイチョウが仲良く伸びている。夫は妻に比べ樹高が10m、幹周り1m以上大きく夫らしい風格をもっている。春は新緑でこれからの季節の躍動感を告げ、夏は燃える緑で養分を蓄え、秋には夫婦で努力した銀杏を実らせ、人々に楽しみを分つと言われている。

【高】雄木37m・雌木28m【周】雄木5.2m・雌木3.5m【齡】350年【所】一宮神社
【管】加保区【ア】八鹿駅より大屋行き大屋下車5分



79 G-5

糸原のミズメザクラ

町指定天然記念物

【種】バラ科・サクラ属 エドヒガン
【場】大屋町糸原

海拔570mの山頂に自生し、枝張りは東西・南北ともに17~18mあり、山側は5mである。花は樽見の大ザクラや大屋町に点在するエドヒガンとは少し異なっており、花弁の色が冷白色で『ミズメザクラ』の愛称で呼ばれている。

【高】21.5m【周】5.3m【齡】500年【所】大屋町【管】保存会【ア】八鹿駅より明延行き田野下車60分 車は登山口駐車可能



見頃 4月上旬▶4月中旬



80 口大屋の大アベマキ

F-5

国指定天然記念物

【種】ブナ科・コナラ属 【場】大屋町中

地元で大クヌギと呼ぶが、クヌギと同じ仲間の暖帯指標木である。クヌギに比べ樹皮が厚くコルクに利用され「コルククヌギ」の異名をもつ。口大屋小学校の裏山の山腹にあり、地元では神の宿木と呼び大切に保護を加えてきた。境界争いなど、伝説も多く残る巨木である。

【高】17m【周】4.8m【齡】400年【所】大屋町【管】中地区【ア】八鹿駅より大屋行き樽見下車 樽見の大ザクラより20分



80



81 G-4

上森神社のシラカシ

県指定天然記念物

【種】ブナ科・アカガシ属
 【場】大屋町蔵垣 上森神社



蔵垣の東に面した山麓の神社境内に生育しているシラカシ群の一本である。カシ類は暖帯林の上部指標木であるが、シラカシは比較的寒地でも生育し内陸部の平地から低山地の土壌の深い適潤地を好み林を形成する。名は材の白色と葉の表が白色によるがウラジロガシに比べ緑白色である。

【高】18m【周】4.6m【所】上森神社【管】蔵垣地区【ア】八鹿駅より若杉行き上蔵垣下車5分 車は付近駐車可能

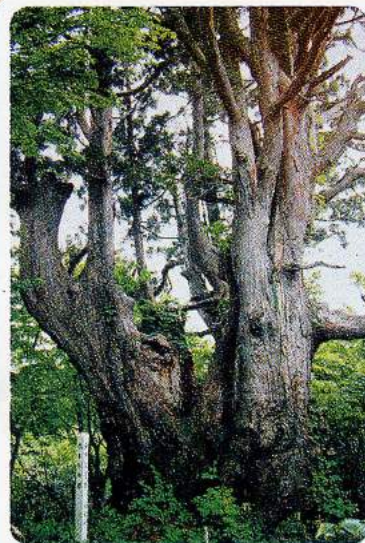
関宮町

82 F-3

大久保のホードースギ

県指定天然記念物

【種】スギ科・スギ属
 【場】関宮町大久保



おおなるがしら
 大久保地区北西の大平頭の斜面、標高1150mにあり推定樹齢500年とされる県下第2位の巨木である。高海拔、積雪地帯の巨木としても珍しい。2mの所で2本に分かれその所が朽ちて空洞になっており、穴の空いた木をホードーな木と呼んで、ホードースギと呼ばれている。

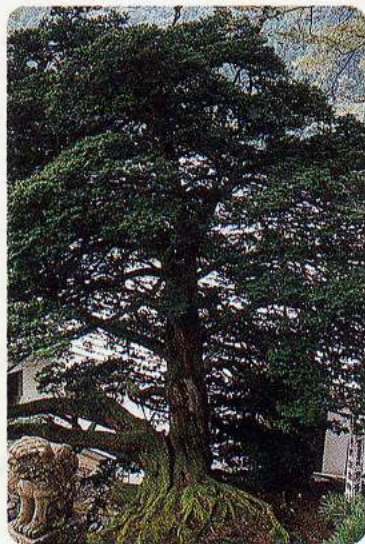
【高】22m【周】12m【齢】500年【所】大久保地区【管】大久保地区【ア】八鹿駅より鉢伏行き鉢伏下車150分

83 F-3

たんど 丹戸のアララギ

町指定天然記念物

【種】イチイ科・イチイ属
 【場】関宮町丹戸



200年ほど前に庄屋が氷ノ山に登り、帰りに枝を折って持ち帰り、山に挿したのが始まりとされている。後に別宮で神社を祀るのが大変であるとされ、丹戸に分社したものの一つで、皇大神社境内に植えられて、御神木として守られてきた、関宮町最大のアララギである。

【高】7m【周】2.45m【齢】200年【所】丹戸地区【管】丹戸地区【ア】八鹿駅より鉢伏行き丹戸中央下車5分 車現地駐車可能

84 F-4

轟のカツラ

町指定天然記念物

【種】カツラ科・カツラ属
 【場】関宮町轟



町道出合から轟線を3km程上がった地点を西へ500m入った谷川沿いに位置している。別宮の大カツラに比べ幹は小振りだが、樹勢は旺盛。樹木の中でカツラは水分を好むため深山にあるものが多い。雌雄異株でこの木は雄株で、主幹と大小多数の支枝からなり形も美しい。

【高】25m【周】10.7m【齢】200年【所】中岡清晴【管】中岡清晴【ア】八鹿駅より鉢伏行き出合下車90分 車で10分

85 F-3

八幡宮のイタヤカエデ



【種】カエデ科・カエデ属
【場】関宮町別宮

全国に広大な荘園を持った源氏は氏神として各地の荘園に分社を祀り、別宮と呼んだ。但馬にも10箇所あまりあったが、この地名が残っているのはここだけである。鉢伏山の東尾根山腹600m付近にある別宮の八幡宮境内は広い森に囲まれて、イタヤカエデは管理され残されている。

【高】20m【周】3.8m【齡】200年【所】八幡宮【管】八幡宮【ア】八鹿駅より鉢伏乗換町営別宮下車横 車現地駐車可能

86 F-3

別宮の大カツラ

県指定天然記念物



【種】カツラ科・カツラ属
【場】関宮町別宮

巨大な雌木で付近に実生苗が多い。1本の根から大小100本近く、幹周り1m以上のものが5本もある。僧空海が立ち寄り教海寺を開き、別宮を発足させて水の神木であると告げたとされる。幹は左巻きに捻じれ、捻幹カツラと呼ばれる。湧き出す水は『カツラの水』と呼ばれて広大な水田を養う。

【高】25m【周】17m【齡】200年【所】関宮町【管】関宮町【ア】八鹿駅より鉢伏乗換町営別宮下車20分 車現地駐車可能

87 F-4

関神社のカヤ

町指定天然記念物



【種】イチイ科・カヤ属
【場】関宮町関宮 関神社

関神社境内鳥居の近くにある大カヤ。明治28年頃道路工事で残土を境内に埋め立てたとされ、幹の1.8mくらいが地中に埋まっている。カヤの木は雌雄異株で、この木は雌木で実も良く着く。柱目が美しいことから古くから用材として用途も広く、特に基盤としては逸品で珍重される。

【高】28m【周】4.5m【齡】500年【所】関神社【管】氏子総代【ア】八鹿駅より鉢伏・村岡行き関宮下車10分 車現地駐車可能

88 F-3

氷ノ山のハリギリ



【種】ウコギ科・ハリギリ属
【場】関宮町出合字氷山

氷ノ山中腹部、標高1000m付近の巨木の谷に自生する県下最大のハリギリである。葉が掌状に裂けた形をしていて、その縁は細鋸葉で、枝には太く鋭い針がある落葉高木である。氷ノ山林道の起点福定から10.7kmの位置に巨木の谷があり、ハリギリ、トチノキ、サワグルミなどの巨木が林立している。

【高】15m【周】4.28m【所】関宮町【管】関宮町【ア】八鹿駅より鉢伏行き福定下車150分 車現地駐車可能

氷ノ山のミズナラ



【種】ブナ科・コナラ属
【場】関宮町出合字氷山

氷ノ山中腹部、標高1000m付近のブナの自然林に自生する県下最大級のミズナラである。材が美しく家具材として用いられる樹木で、植生を優先して、大木の美林は幽泉境の自然をつくることで知られています。福定から氷ノ山林道を11.4km、ブナの大林に囲まれた雄大なミズナラの姿を見ることができる。

【高】20m【周】5.09m【所】関宮町【管】関宮町【ア】八鹿駅より鉢伏行き福定下車160分 車現地駐車可能

和田山町

諏訪神社のクスノキ



【種】クスノキ科・クスノキ属
【場】和田山町竹田下町 諏訪神社

諏訪神社の御神木として崇拝されている木で、地上3.7mの所で三方に枝が分かれて威容を保っていた。台風などで2本が折れたものの樹形はそれほど変わらずにいた。しかし近ごろ少し荒れがひどくなってきている。秋には紅葉も見られ、雄大な姿が池にも映し出され静かに境内を見守っている。

【高】23m【周】6.1m【所】諏訪神社氏子【管】諏訪神社氏子【ア】竹田駅から竹田下町方面10分

生野町

延応寺の大ケヤキ

県指定天然記念物



【種】ニレ科・ケヤキ属
【場】生野町口銀谷

兵庫県下で2番目の大きさのケヤキである。延暦年間栃原大火の時、千手観音がこの樹に逃れ、見つけた上人がこの森に祀り、後にこの寺を建てたとされる。台風や雪の被害により3本に分かれた幹が折れ、腐朽している。樹皮表面の凹凸模様が見られ『タマモク』のケヤキとして知られる。

【高】30m【周】8.6m【齢】400年【所】延応寺【管】延応寺【ア】生野駅より5分

J-7 ヒカゲツツジ群落

【種】ツツジ科・ツツジ属
【場】生野町小野

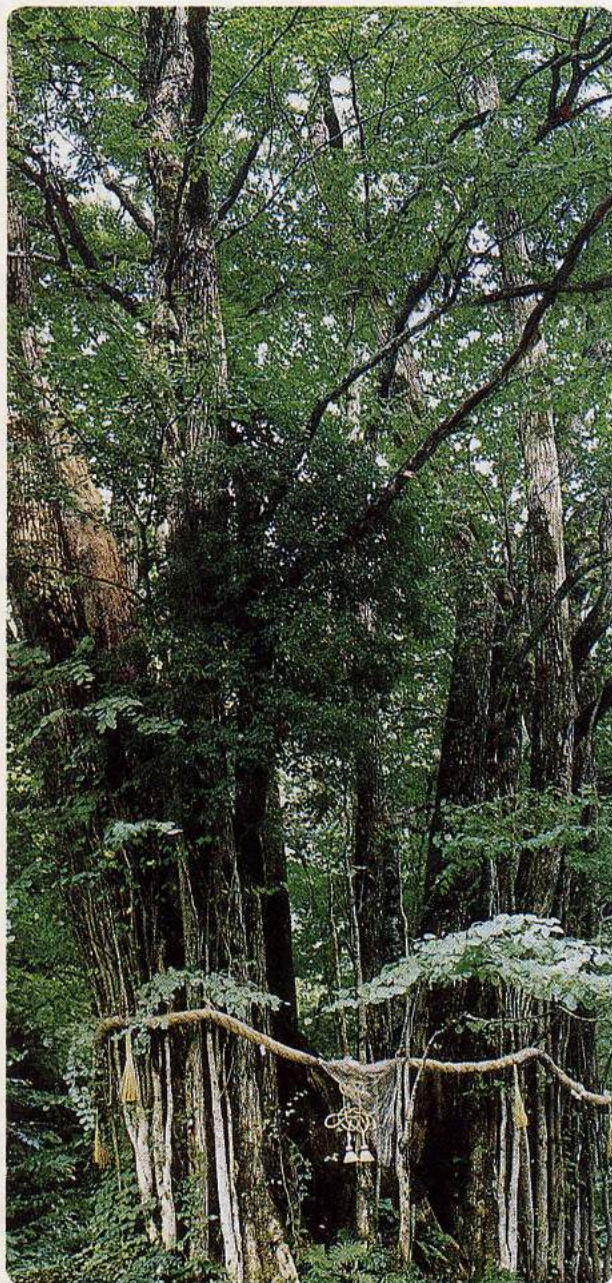


関東以西の山間、谷間の崖などに生える常緑の小低木で、兵庫県では生野銀山の旧坑道口の崖に見事な群落がある。花は4月中旬に淡緑黄色の花を一斉につけ谷間を照らすことからサワテラシの名がある。湿度の高い冷涼な所を好むことからこの地の気候の特色がわかる。

見頃 4月中旬



【高】1.5m【周】1~2m【所】小野区【管】小野区【ア】生野駅より生野銀山へ車で5分 奥銀谷バス停下車10分



91

E-9

糸井のカツラ

国指定天然記念物

【種】カツラ科・カツラ属 【場】和田山町竹ノ内



カツラの雄株で主幹は朽ち、大小84のひこばえが主幹の周囲を取り囲むように林立していて、一見カツラの森のように見え県下最大である。昔大ひでりがあった時、名僧を招き雨乞いをしたところ霊験あらたかであったという。その際に衣をかけたことから地元の人は「こもろぎ」と呼んでいる。

【高】35m【周】19.03m【齡】2000年【所】竹ノ内区 【管】和田山町教育委員会【ア】和田山駅から竹ノ内方面行き竹ノ内下車60分

92 G-7

久世田の大イチョウ

町指定天然記念物

【種】イチョウ科・イチョウ属
【場】和田山町久世田



加納ヶ丘陵は但馬一円に勢力を張った日下部氏が遠祖として崇敬し、赤淵神社並びに竹田の表米神社、久世田の俵米神社に祭祀されている表米親王の墓と伝えられる。この樹には古いイチョウにしか見られない『チチ』と呼ばれる気根が20数個、大きな物は長さ210cm直径60cmもある。

【高】25m【周】5.8m【所】久世田区【管】久世田区【ア】竹田駅から生野行き久世田下車3分 竹田駅から20分

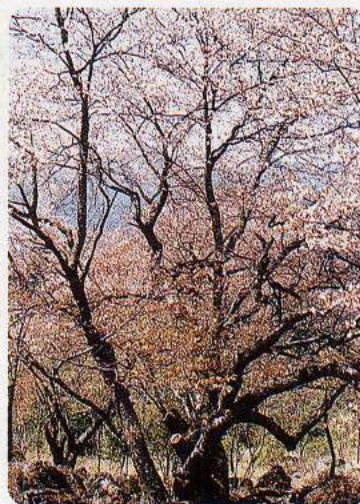


94 H-7

立雲峽のヤマザクラ群落

県立自然公園

【種】バラ科・サクラ属
【場】和田山町竹田 立雲峽



立雲峽は朝来群山県立自然公園の中核で朝来山の中腹にある。無数の奇岩・巨岩の点在する中に樹齡300年以上のヤマザクラが群生し、山陰随一のサクラの名所として名高い。口1000本、奥1000本、東1000本に分かれ、早咲き、晚咲きの他、花色の変化にも富み長く花を楽しむことができる。

【齡】300年以上【所】竹田区【管】竹田区【ア】竹田駅から対岸山腹まで40分

見頃 4月上旬▶4月下旬



95 H-7



朝来山の夫婦スギ

【種】スギ科・スギ属
【場】和田山町竹田

乾きがちな尾根にはマツ・ヒノキが常であるのに、朝来山の山頂の沢附近には珍しく巨大なスギがある。寄り添って立っていることから「夫婦スギ」と命名されている。人の手が入りにくいので雄大に大きくなり、現在その姿を残している。山頂から竹田城跡・竹田・円山川を見下ろしている。

【高】30m 【周】4.3~6m 【所】竹田区【管】竹田区【ア】竹田駅から対岸山頂まで90分 けもの道で険しい

96 F-8



見頃 5月▶6月



東河のセンダン

県指定郷土記念物

【種】センダン科・センダン属
【場】和田山町東和田 東河小学校

諺のセンダンはジャクダンのことであるが、「センダンは双葉より芳し」すぐれた人物は幼い時から他と異なりすぐれているという、学校にとって縁起のよい名前の木に格別の思いをもって大切にされ、東河小学校の校樹となっている県下一の巨木である。薄紫の五弁花を穂状につけ、果実は黄色に熟し漢方薬に用いる。

【高】22m 【周】4m 【齢】95年 【所】和田山町教育委員会【管】和田山町教育委員会【ア】和田山駅より白井方面中村下車

山東町

98 G-8



見頃 4月下旬▶5月



西谷の一本フジ

町指定天然記念物

【種】マメ科・フジ属 ノダフジ
【場】山東町栗鹿 西谷

古い石仏とともに道しるべとなっていたエノキとともに共生している、但馬で最古の老フジである。3本の大枝に分かれ、4月下旬から5月にかけて長さ30cm~50cmの総状の見事な花をつける。昔は棚田で農作業をする人々に四季の訪れの象徴として咲いたが近頃花が少なくなっている。

【高】18m 【周】1.4m 【齢】300~350年
【所】西谷区【管】西谷区【ア】竹田駅より栗鹿へ通じる町道の途中にある

97 G-7



藤和の大將軍スギ

県指定郷土記念物・町指定天然記念物

【種】スギ科・スギ属
【場】和田山町藤和

文化2年(1353)丹波国佐治の山垣城主足立遠政の長子足立藤和が訳あってこの地に隠棲したが、先に住まいをしていた藤原正司がいたことを知り、藤和は正司が自分の遠祖と同姓であることに因縁を感じ正司の墳墓を崇拜し大將軍と尊称した。このスギの木をそばに植え神木として崇めた。

【高】35m 【周】8.4m 【齢】600年 【所】個人
【管】個人【ア】竹田駅より藤和へ車20分

あわが
G-8 粟鹿神社の社叢

町指定天然記念物



【種】ヒノキ・スギ社叢
【場】山東町粟鹿 粟鹿神社

粟鹿神社は但馬筆頭の名大神社で創始は紀元前にさかのぼる。3.3haにも及ぶ社叢は社殿付近から南にヒノキ・スギを主とする巨木が姿よく繁茂して大きく広がり、中には経塚古墳と思われる遺跡や低湿地など、すこぶる変化に富んでいる。7月の輪抜け祭・秋(10月)の大祭は参拝者で賑わう。

【所】粟鹿神社【管】大杉和子【ア】梁瀬駅より粟鹿方面車で7分



100

H-7

八代の大ケヤキ

国指定天然記念物

【種】ニレ科・ケヤキ属【場】朝来町八代 足鹿神社



足鹿神社の境内にそびえる鎮守の古木群の中でひとときわ大きく目立つ。昭和3年に国の天然記念物に指定された時は、樹高30mの巨木で兵庫県で一番大きかったが、台風で折れた。『大金木』と呼ばれ霊木として崇められている。幹の内部は空洞になり、保護の手が加えられている。

【高】23m【周】9.8m【齡】1500年【所】足鹿神社【管】朝来町教育委員会【ア】新井駅より神子畑行き八代口下車5分

見頃 4月上旬▶11月上旬

朝来町

99 H-6



見頃 8月▶9月



みこぼた
神子畑のサルスベリ

県指定郷土記念物

【種】ミソハギ科・サルスベリ属
【場】朝来町佐囊

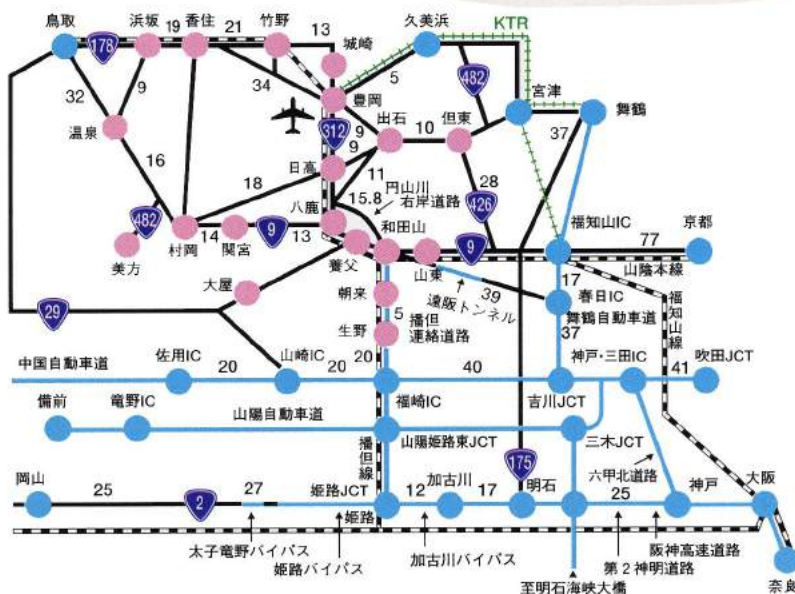
昭和62年3月に閉鎖された神子畑鉱山のフランス人技師ムーセの旧居前にある。サルスベリは、樹皮から名付けられ、真夏の炎天下に緑の樹冠をバックに赤い花が百日も花をつけ百日紅とも呼ばれる。中国原産で古木はあまりなく但馬では珍しい。姿がよく開花時期は8月～9月である。

【高】8m【周】2.57m【齡】150年【所】細倉鉱業株式会社【管】朝来町【ア】新井駅より神子畑行き神子畑下車

巨木は先祖が残した但馬の宝。 ルールを守り次世代に引き継ごう。



◆交通のご案内◆



車	大阪(吹田JCT)から……………約2時間40分 神戸(神戸・三田IC)から……………約2時間10分 姫路(姫路JCT)から……………約2時間 広島(広島駅)から……………約5時間30分
空路	●飛行機で 大阪空港からコウノトリ但馬空港……………約35分 [問] 0796-26-1515
全回バス	大阪から城崎……………約3時間30分 神戸から城崎……………約3時間20分 大阪から湯村温泉……………約3時間45分 神戸から湯村温泉……………約3時間30分 鳥取から湯村温泉……………約1時間 [問] 0796-62-2131
JR	大阪駅から豊岡駅……………約2時間30分 三ノ宮駅から豊岡駅……………約2時間20分 姫路駅から豊岡駅……………約1時間30分 京都駅から豊岡駅……………約2時間25分

ソイ(大豆油)インキを使用し、古紙100%
の再生紙に水なし印刷をしています。

編集／但馬夢テーブル委員会 巨木百選マップづくりグループ

発行／財但馬ふるさとづくり協会 兵庫県豊岡市山王町11番28号 Tel.0796-24-2247

